

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 6月25日更新

事務事業名		市民農園維持管理事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展	
総合計画体系	政策	6	産業の健幸		所属部	産業振興部
	施策	23	農業の振興		所属課	農政課
	業務分野	69	関係機関との連携の強化		所属班	農政班
課長名	坂本 卓博					
担当者名	富永 麟盛					
(内線)	5224					
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠
	一般	6	1	10	10275	市民農園法 合志市市民農園条例
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	農園づくりの体験を通じた農業への理解と親しみを市民に普及させるため、農園を貸し出し、使用料を徴収し、農園の維持管理を行う。地産地消や安全・安心が叫ばれる中、自ら農園で作物を栽培し、農業への理解を深めてもらおうと、平成13年度に市民農園法に基づき農園を整備し翌年度より利用者を募集し貸し出ししている。21年度に区画の見直しを行い104区画となり、更に23年度には20区画を増設し、更に御代志に21区画を新設した。現在、145区画。28年度に福原農園西側道路改良工事に伴い、10区画減。現在、135区画。
【業務の流れ】	募集、契約、貸し出し、使用料(調定、納付書発送、納付確認)、施設の維持管理
【主な予算費目】	需用費、消耗品費、光熱水費、修繕費、施設修繕費、燃料費、役務費、委託料、使用料及び賃借料

(1)事務事業の振り返り・計画
①6年度事務事業の成果・実績
市民農園条例により、適切に市民農園の維持管理事業を行った。
福原農園 114区画(107区画契約、待ち人数0人)
御代志農園 21区画(21区画契約、待ち人数1人)

②7年度計画(次年度に計画している主要内容)	③予算の主な増減の理由
募集、契約、貸し出し、使用料(調定、納付書発送、納付確認)、施設の維持管理	作業単価見直しによる施設管理業務委託料の増

成果指標	(単位)	データ取得方法
ア 空き区画に対する申込者の割合 ⇒ イ (申込者数÷募集区画数)	倍	

(2)成果指標・総事業費の推移		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
成果指標	ア	倍	5	4	1	0	1	1	1	0
事業費	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	556	553	546	534	546	546	546	546
	繰入金	千円								
一般財源	千円	313	439	408	372	372	372	372	372	
(A)事業費計	千円	869	992	954	906	918	918	918	918	

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)
あらかじめ利用希望者を担当課でリストアップしておき、空き区画が出た時点で利用希望者に利用区画を斡旋する。現時点で、解約者がでて、すぐに利用者を補充できる状態にある。

(4)今後の事業の方向性
 廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)